

校訓	学校教育目標	分掌がめざす生徒の姿	分掌目標 Plan	2学期の成果と課題	主な活動 Do	1月	2月	3月	到達目標	評価(Check)基準	成果と課題・提言
みずから学びみずから鍛えみんなと生きる	生活のリズム(望ましい睡眠・食事のありかた・メディアとのつきあい方)、生活習慣(身だしなみ・清潔感・整理整頓)を定着させ、自主、自立の精神を養い、共生の精神を尊重する人間関係づくりを構築し、学力向上をめざす。	◎人権意識を高め、主体的に行動できる生徒 ◎自ら進んで学習することのできる生徒 ◎自己肯定感をもち、自信を持って発言できる生徒 ◎自分自身の考えや意見を述べ、自分の意見を通じたいという気持ちを持ち、人のために行動できる生徒 ◎他人の考えや意見を聞き取り、理解しようとする態度をもつ生徒 ◎自分自身で決断し、責任を負うことができる生徒	○『自治的集団』の育成	有用感がうすいので、認められ感をふやすため、「良かったこと探し」など、場の設定を試みる。→小さなことの積み重ね、繰り返しの行う。 「ふれあいタイム」「ショートエクササイズ」の内容を学年の実態に合わせて再検討する ↓ 短学活の見直し、クラスミーティングの活用	生徒会・委員会活動推進	委員長と担当教員の相談週間 若鷲カップ(給食・図書・JRC・生活)	第三回専門委員会	生徒会役	・フォローアップ活動の具体を全校生徒が理解する。 ・フォロワーとして日常生活での委員会の取り組みに関わる。	・フォローアップ活動の具体を生徒会執行部で提示する。 ・フォロワーとして委員会の取り組みに参加する意識が高まる。 ・自ら行動しようとする生徒が増える。	
					リーダー正副室長育成	3年生を送る会に向けて計画・準備	室長 正副		・3年生を送る会を通して、2年生のリーダーが自覚を持つことができる。	・自発的に動き、既存の企画を自分たちの手により良いものに行わせることができる	
					(応援団活動)	3年生を送る会に向けて計画・準備			新体制での自覚、風格を持つことができる。	3年生を送る会や卒業式などで、自分たちで考え考えた取り組みを行うことができる	
					JRC活動推進	愛郷活動 ベルマーク集め・キャップ集め・ちょボラ・(若鷲カップ)			自発的に様々なボランティア活動に参加することができる。	各ボランティア活動への参加人数30人以上	
					生徒会会計	予算案に沿って予算執行を行う	監算度平成 生2 執徒4 行会年	3年生を送る会(3・11)	滞りなく予算を執行する。	特になし	
					縦割り活動推進	グループ内での交流【各担任】 3年生を送る会・解団式に向けて計画・準備	解団式		・感謝の心をもてる ・感謝される喜びを感じることができる ・先輩としての自覚を持ち、自ら進んで動くことができる。	・日めくりカレンダーを縦割りで協力して完成させ、手渡すことが出来る。 ・2年生がリードして1年生を動かす姿が見られる。	
					特別活動・短学活・学級生徒会活性化	開き 三学期学級 ふれあいタイム ふれあいタイム フリースクール 学級生徒会 各学年ごとのテーマに沿ったふれあいタイム実施 短学活(ふれあいタイム)での生徒同士、生徒と担任の関係作り			ふれ合いタイムで各学年ごとにテーマを決めて最低6回実施する。データを残す。クラスミーティングを実施する。	6回のふれあいタイム実施。	
					体育的行事への意欲的参加・文化祭行事への積極的参加	2大行事での振り返りを生かした経営			来年度に向けて振り返りアンケートの項目内容の見直しをする。	今年度中に内容項目を変更することができる。	
					Q-Uによる検証	二回目のQ-U検査の結果を 生かした経営 QU検査の検証・検証結果による取り組み			・検証結果を意識した学級経営ができる	2回目の検証以降Q-U結果を意識した学級経営をしたクラス 10/12クラス(各担任への聞き取り調査)	
部活動・部長会 中体連調整	完全下校の呼びかけ		前部休業 春期休業	・完全下校がしっかりと守れる。	完全下校実施率 100%						